

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume **21** 2014.12

西南学院大学



キドゥッシュ・カップ [西南学院大学博物館所蔵]

特集 **キドゥッシュ・カップ**
**ユダヤ教の儀礼、
祝祭に欠かせない祭具**

ヴォーリズ建築を求めて⑧ 大丸心齋橋店(旧大阪大丸百貨店)

特別展紹介 ジュダイカ・コレクションⅢ 祈りの継承 ―信仰と美術―

所蔵品紹介 ユダヤ教の儀礼・祝祭に欠かせない祭具

大学博物館紹介⑩ 梅光学院大学博物館

1920



SEINAN GAKUIN
1920

ヴォーリズ建築を求めて⑩

大丸心齋橋店(旧大阪大丸百貨店)

これまで本シリーズでは主に教会建築を取り扱ってきましたが、今回はヴォーリズが手がけた代表的な商業施設である大丸心齋橋店をご紹介します。

大正11(1922)年から昭和8(1933)年にかけて建造された本館は、アール・デコやネオ・ゴシック様式を織り交ぜた「大正モダン建築」で知られています。全体に重厚な大理石がふんだんに使用され、1階玄関ホール天井には、まるで空間を覆い尽くすように幾何学模様広がっています。どこを見ても意匠の凝らされた装飾は、もはや1つ1つが芸術品で、訪れる人々を飽かさせることはありません。長い年月の中で、繰り返し修復されてきた本館は、当時「百貨店」という言葉が持っていた華やかさをそのまま現代に伝えてくれる建物となっています。

学芸調査員
阿部 大地



1階天井



建物外観

写真提供元 / 大丸心齋橋店

【大学博物館紹介⑳】

梅光学院大学博物館

西南学院大学博物館は学内GP「大学博物館における高度専門学芸員養成事業—日中韓の大学博物館調査—」の採択を受け、全国の大学博物館の調査をし、博物館ニュースなど様々な形で調査報告を行っております。今回は、山口県下関市にある梅光学院大学博物館をご紹介します。

梅光学院大学は、アメリカ改革派教会のミッションスクールである下関梅光女学院にその起源を持ちます。当初その名のとおり女学校として開校しましたが、大学は2001年に男女共学となりました。

博物館相当施設の梅光学院大学博物館は、学院史、藤山一雄氏の資料やキリスト教関連の資料、高島北海の作品などを収蔵しており、企画展を年に2~3回行っています。



2014年の秋には大学博物館連携事業の一環で、西南学院大学博物館、神戸大学海事博物館と共同で特別展を行いました。1階は大学図書館となっており、2012年の「山口県大学ML(博物館・図書館)連携企画巡回展」開催など、図書館とも連携し、学生や地域に開かれた博物館です。

学芸調査員 出口 智佳子



開館時間 / 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 / 毎月1日(但し、日・祭日の場合は2日) 水・日曜日、祝祭日
年末年始(12/28~1/4) ※ 展示替えと資料整理のための臨時休館があります。

入館料 / 無料

お問合せ 〒750-8511 山口県下関市向洋町1-1-1
TEL:083-227-1070 FAX:083-227-1071

キドウシュ・カップ

ユダヤ教の儀礼、祝祭に欠かせない祭具

キドウシュ・カップは、聖日にぶどう酒を飲むためのカップです。キドウシュはヘブライ語で「聖別」を意味します。割礼式や成人式などの通過儀礼、過越祭などの祝祭、そして安息日などの聖日に使用されます。

本資料は割礼式で男児にぶどう酒を飲ませるものです。側面中央には、『創世記』の一話である「イサクの犠牲」という主題が表されています。神から命じられたアブラハムが息子イサクを屠ろうとする場面です。神にアブラハムの信仰心を示すことになるこの場面は、キリスト教美術においても好んで表されました。

ユダヤ教の聖なる日に使用されるキドウシュ・カップは祭具であると同時に、美術工芸品としても評価されています。

学芸研究員 内島 美奈子



キドウシュ・カップ

学芸員の眼 — 資料解説の方法 —

特別展の資料解説の方法には、解説キャプション、図録、ギャラリー・トークなどがあります。最近では解説キャプションの代わりに、QRコードを設置している博物館もあります。これは展示スペースが少ない時には便利です。ただし、解説キャプションは単に資料の情報を与えるものではありません。資料と同様にじっくりと見られるものであり、展示会の雰囲気をかたちづくる重要な要素だと私は思います。そこで当館では解説キャプション作りには次のことを心がけています。まず、字数をあまり増やさないようにしています。つい多くの情報を載せたくりますが、特別展の全体の流れを

壊さないよう、余分な情報は図録に回すようにしています。そして、解説キャプションのパネルのデザインは、特別展の雰囲気に合ったものにします。現在、当館で開催中の特別展では、展示資料の装飾をデザインに生かしました(写真1、2)。そうして作成したキャプションの置き方にも注意を払い、資料の高さや、展示スペースを考え、ベタ置きや角度をつけたりなどして位置を調整しています(写真3、4)。ぜひ、展示資料の一部として解説キャプションも見てみてください。

学芸研究員 内島 美奈子



1- 解説キャプションのデザイン



2- キャプションのデザインに使用した資料



3- 角度付



4- 前-ベタ置き
奥-角度付



博物館通信

2014年7月から2014年11月までにおこなった博物館活動や出来事のなかからいくつか紹介をします。



7月5日(土)、本学博物館にて、大学博物館共同企画・特別展「海路—海港都市の発展とキリスト教受容のかたち—」の関連イベントとして、ミュージアムセッションが行われました。



7月23日(水)～8月2日(土)、大学博物館で博物館実習を行いました。



7月26日(土)、第15回特別展「海路—海港都市の発展とキリスト教受容のかたち—」関連公開講演会を開催しました。



8月5日(火)～8月6日(水)、南島原市原城図書館・有家図書館・西有家図書館でせいなんおでかけワークショップを実施しました。



8月6日(水)～11月27日(木)、南島原市原城図書館で、産官学連携企画展「島原・天草一揆の実像と記録」を開催しました。



9月3日(水)～10月30日(木)、企画展「シーボルトのみた日本宗教」を開催しました。



11月7日(金)、西南学院小学校3年生から「サンクスギビングデー」に感謝のお手紙とプレゼントをもらいました。



11月15日(土)、本学博物館でせいなん子どもワークショップ2014「ヘブライ語でうたってみよう」を、南島原市原城図書館でせいなんおでかけワークショップを実施しました。



特別展 ミュージアムセッション



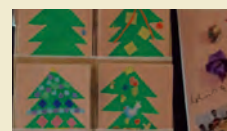
博物館実習



せいなんおでかけワークショップ



産官学連携企画展



西南学院小学校
3年生からの
サンクスギビングデーの
お礼より

サンクスギビングデー

スタッフの声

寒さがひとしお身にしみる頃となり、お昼の日向がとても暖かく感じる季節となりました。当博物館前の花壇には、小林先生(本学名誉教授)や山崎先生(人間科学部教授)を中心としたボランティアの方々が可愛い笑顔や菊を植え、手入れして下さっており、博物館はその温かさに包まれているようです。

西南学院大学博物館では、11月7日より、「ジュダヤイカ・コレクションⅢ 祈りの継承—ユダヤの信仰と美術」を開催しております。キリスト教はユダヤ教を母胎として生まれ、その信仰が継承されています。本展覧会ではユダヤ教の祭礼に用いられる装飾美術品を通してその信仰を紹介しています。本展は2015年1月17日(土)まで、開催しております。

さて2014年度は、当館に学芸研究員として内島美奈子氏を迎え、博物館として新たな一歩を踏み出した年でもありました。来年も安高学芸員、内島学芸研究員と共に、職員一同、一層良い博物館となるよう努めて参ります。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

学芸調査員 出口 智佳子

せいなん子どもワークショップ2014 ご報告

【子どもワークショップ】

11月15日、当館では秋季特別展関連イベントとして、ユダヤ教の学習とヘブライ語のうた(マイムマイム)の練習を行いました。ユダヤ教の研究をしている本学院生の協力のもと、充実したプログラムで当日に臨みました。残念ながら近隣地区のイベントと重なってしまい、参加者は僅か2名となりましたが、そのぶん和気藹々とした、アットホームな交流を楽しむことができたと思います。

学芸調査員 下園 知弥



【おでかけワークショップ】

11月15日に、せいなん子どもワークショップの出張版である「せいなんおでかけワークショップ」を長崎県南島原市の原城図書館で開催してきました。原城図書館で展示している「天草四郎肖像」(当博物館所蔵)をモチーフにして作られた巨大な天草四郎図を、子どもたちははらなくなったチラシやポスターを使って思い思いにエコ・デコレーションしてくれました。総勢40名の子どもたちによる、世界にひとつだけの天草四郎肖像画が出来上がりました。



学芸調査員 山尾 彩香

2014年秋季特別展 ジュダイカ・コレクションⅢ

祈りの継承 —信仰と美術—

会期／2014年11月7日(金)～2015年1月17日(土)

時間／午前10時～午後6時(入館は午後5時半まで)※日曜休館

会場／西南学院大学博物館特別展室

入場料／無料

主催／西南学院大学博物館

協力／関谷定夫氏

後援／福岡県・福岡県教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団

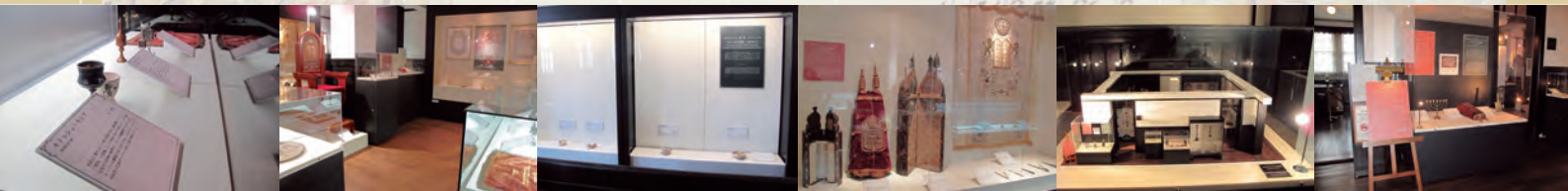


◇開催概要

キリスト教の源流であるユダヤ教を信仰するひとびとは、かつて祖国を失い世界中に離散しました。彼らは信仰を拠りどころにアイデンティティを保ち、定住した地域の文化に刺激を受けながら多様な“かたち”を創出してきました。

それらはジュダイカと呼ばれ、ユダヤ教の祭具等を含む文物一般のことを総称するものです。ユダヤ教を信仰するひとびとにとって、祭祀と生活は密接な関係があり、多くのジュダイカが生み出されました。また、それらは尊敬の対象として特別な装飾が施され、ユダヤの美術工芸品としても高い評価を得ています。

これまで本大学博物館では、ユダヤの祈りや生活にスポットをあてた展覧会を開催してきました。第3回目となる今回は、ジュダイカを美術という視点で捉えています。ジュダイカの美術工芸品としての価値と同時に、その意匠がもつ宗教的意味を認識することで、ユダヤ教の理解を深めるものにしていきます。



◇展示構成

序章 ユダヤの美術

ユダヤ教では、時代によって美術に対する態度は異なっています。

そのなかで、定型化した装飾モチーフがあり、幾何学・植物意匠、祭具の表象やヘブライ語で表された宗教的な意匠などがあげられます。

それらは美しく飾られていると同時に、ユダヤ教の教義を反映した装飾といえます。

I 信仰のかたち

ユダヤ教の信仰の中心ともいえるのがトーラーであり、その信仰の中心の場となっているのがシナゴグです。ユダヤ教の聖典であるトーラーには特別な尊敬が払われ、豪華な装飾がなされます。そのトーラーを保管するシナゴグには神聖な場として、さまざまな調度品を見ることができます。

II 彩られた祝祭と儀礼

ユダヤには、秋に新年が始まるユダヤ暦にしたいがい、さまざまな祝祭や通過儀礼があります。そのなかで使用される祭具には、しばしば宗教的意匠から少し離れ、定住したそれぞれ地域の特徴が濃く反映しているものが見られます。また、ユダヤのひとびとの日常を彩った祝祭・儀礼の祭具をとおして、ユダヤの生活を身近に感じることができます。

III 安息日の祈り

ユダヤ教では毎週土曜日は一切の労働が禁じられる安息日です。安息日は毎週めぐってくる聖日であり、ユダヤ人の信仰生活の基本といえます。シナゴグと家庭という公私の両方の場で使用されるさまざまな祭具から、ユダヤの安息日の様子をうかがうことができます。

終章 ともし火の系譜 —聖書考古学—

イスラエルを含む中近東の古代都市の遺跡から、多くのランプが発掘されています。

ランプは古代の人々にとって日常品であり、儀礼でも使用されました。

形は時代と場所によってさまざまであり、メノラーなどの装飾を施しているものもあります。

ここに、古代以降の、信仰、祝祭、儀礼のなかで使用されるさまざまなランプの原型をうかがい知ることができます。

行事予定

2014(平成26)年～2015(平成27)年

【特別展／企画展】

11月7日(金)～1月17日(土) 秋季特別展
ジュダイカ・コレクションⅢ「祈りの継承-ユダヤの信仰と美術-」
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室・2階講堂

11月29日(土)～3月26日(木) 産官学連携・原城図書館企画展
歴史の中の島原・天草一揆
[場所] 原城図書館

2月14日(土)～3月22日(日) 産官学連携・天草キリシタン館企画展
西南学院大学博物館特別展
[場所] 天草キリシタン館

【講演会】

12月6日(土) 14:00～16:00
第16回 特別展関連公開講演会
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
[講師] 内島美奈子氏(本学博物館学芸研究員)
「ジュダイカ・コレクションⅢ 祈りの継承-ユダヤの信仰と美術-」
[講師] 小林洋一氏(本学名誉教授)
「ヘブライ語聖書「詩篇」にみる信仰と祈り」

3月14日(土)
産官学連携・天草キリシタン館企画展公開講演会
[場所] 天草キリシタン館
[講師] 安高啓明氏(本学博物館学芸員)
「天草キリシタン史と絵踏」

【せいなんこどもワークショップ2014】

3月14日(土) 10:00～12:00
「しおりを作ってみよう!」
[場所] 西南学院大学博物館

【せいなんおでかけワークショップ】

3月15日(日) 10:00～12:00
「天草四郎をエコ・デコレーション in 天草キリシタン館」
[場所] 天草キリシタン館

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]
入館料 / 無料

来館者掲示板

久しぶりに講堂に入りました。
昔の感覚が一瞬、甦りました。
(2014年9月)

I enjoyed my time at the museum. The
worship time this Monday morning was
encouraging. I liked the song that was sung
and the piano playing. It was great to see
Japanese Christians worshipping God the
Creator, thank you!
(2014年9月)

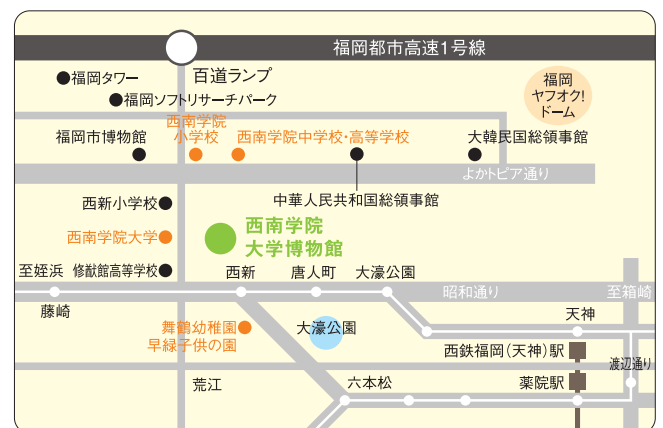
今日はゆっくり拝見でき、心から感謝、ありがとうございます。
(2014年10月)

貴館のことを聞いて来ましたが、特別展含め、すべてす
ばらしく感動しました。またきます。
(2014年11月)

気がつけば冬まっさかりの福岡は、どこも美しいイルミネーションで彩られています。当館にはイルミネーションこそ設置されていないものの、暗くなるとライトアップされ、いつもとは違った表情を見せてくれます。
夜の博物館には当然入ることができませんが、展示資料を眺めるだけではない当館の一味違った楽しみ方、機会があれば是非ごらんになっていただきたいと思います。
学芸調査員 D.A.

アクセスマップ

ACCESS MAP



地下鉄

福岡空港 → 西新駅下車...約17分
博多駅 → 西新駅下車...約12分
天神 → 西新駅下車...約8分
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分



バス

博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
天神 → 修猷館前...約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分



タクシー

福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分